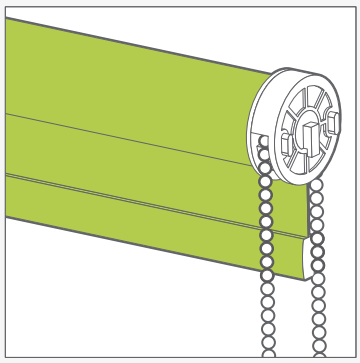
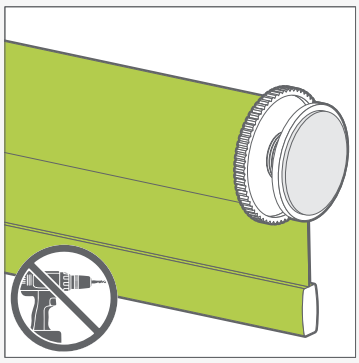
ロールスクリーン取り付けガイド

以下より取り付け方法をご選択下さい。

チェーン式

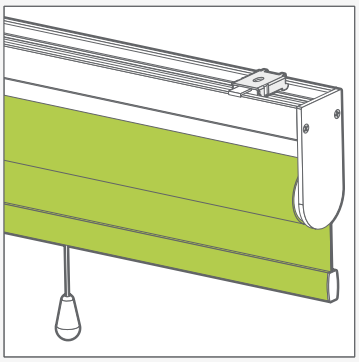


ビス止め

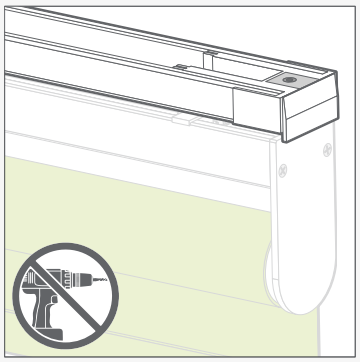


突っ張り式

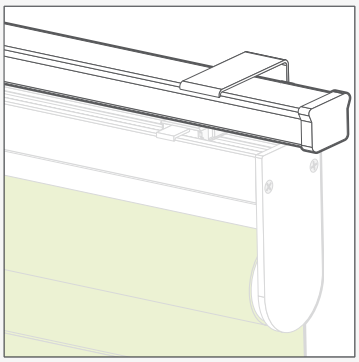
プルコード式



ビス止め

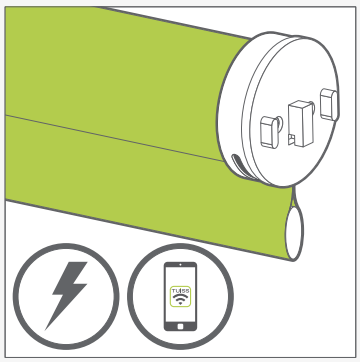


突っ張り式

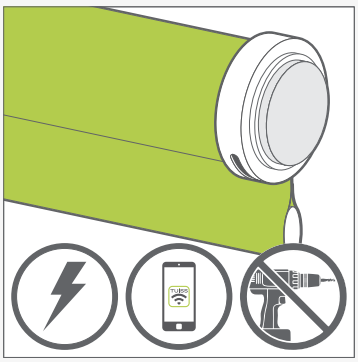


カーテンレール取り付け

スマートビュー電動

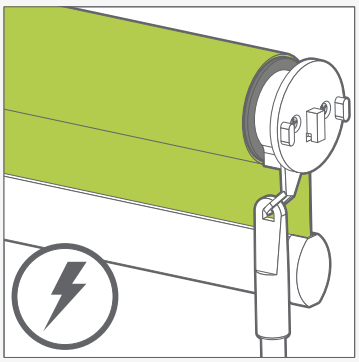


ビス止め



突っ張り式

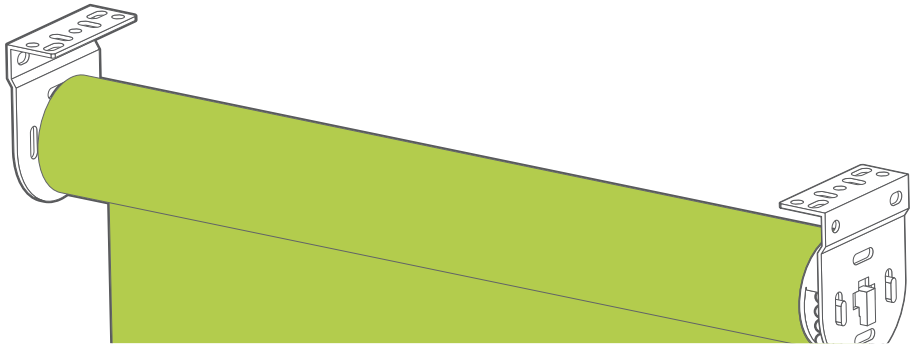
ワンタッチ電動

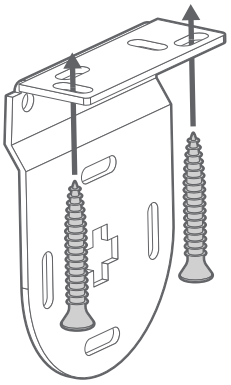


ビス止め

1

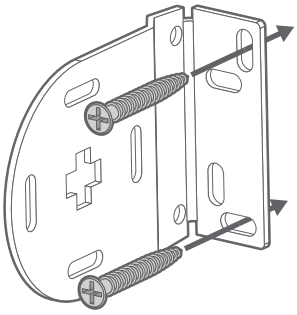
ブラケットの取り付け方





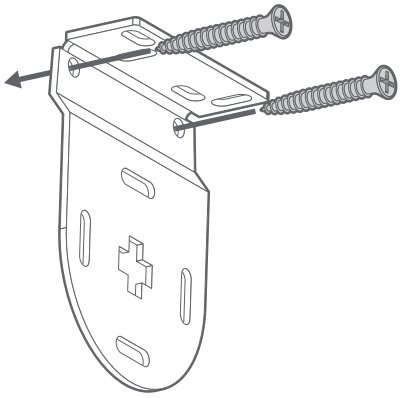
天井付け

窓枠内の天井にビスで取り付けます。



正面付け

窓枠外側の壁面、または窓枠の正面に取り付けます。

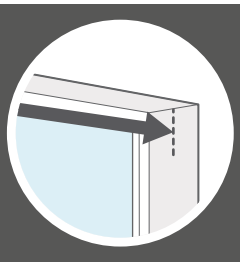


側面付け

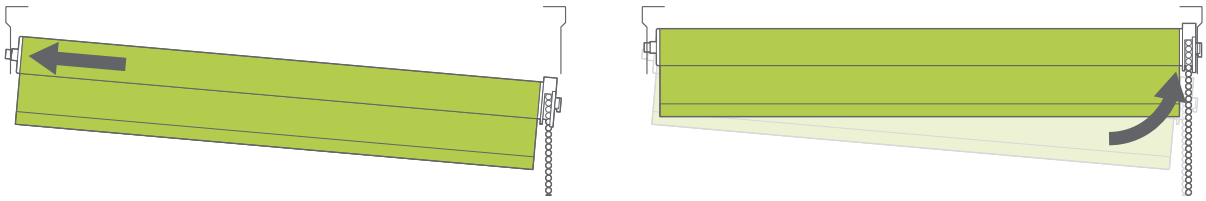
窓枠内の側面にビスで取り付けます。

アドバイス

通常は天井付けまたは正面付けでの取り付けをおすすめします。お部屋の天井や窓枠の上部に凹凸（鴨居など）がある場合は側面付けでお取付け下さい。

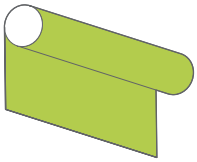


本体の取り付け方



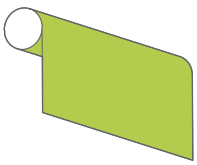
チェーンコントローラーと反対側の突起をブラケットの穴に合わせます。そのあと、チェーンコントローラー側をブラケットに合わせて固定します。

その他



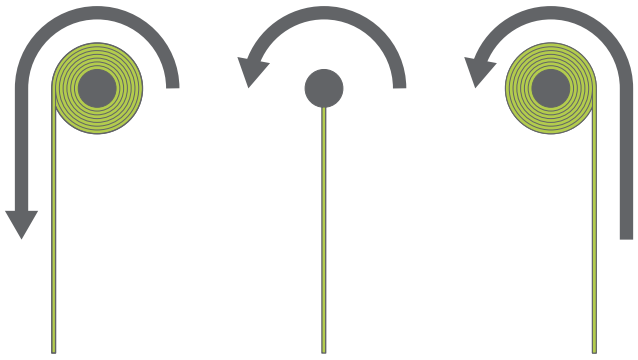
スタンダード巻き

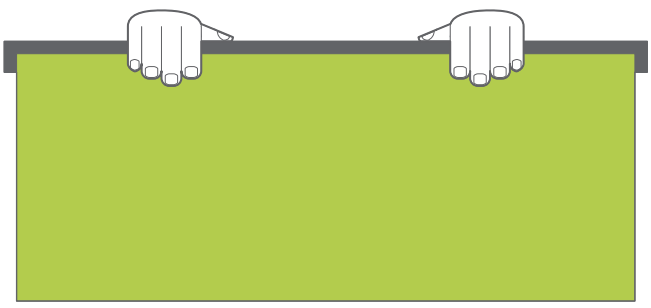
ロールスクリーンは生地を2通りの方向に巻き付けることができます。「スタンダード巻き」は窓または壁に近い位置でスクリーン生地が上下開閉し、本体がチューブの後ろ側に巻きあげられる形です。一般的に遮光タイプのロールスクリーンに使われ、窓枠の外に取り付けることが多いです。「スタンダード巻き」は光漏れが少ないのがメリットです。



リバース巻き

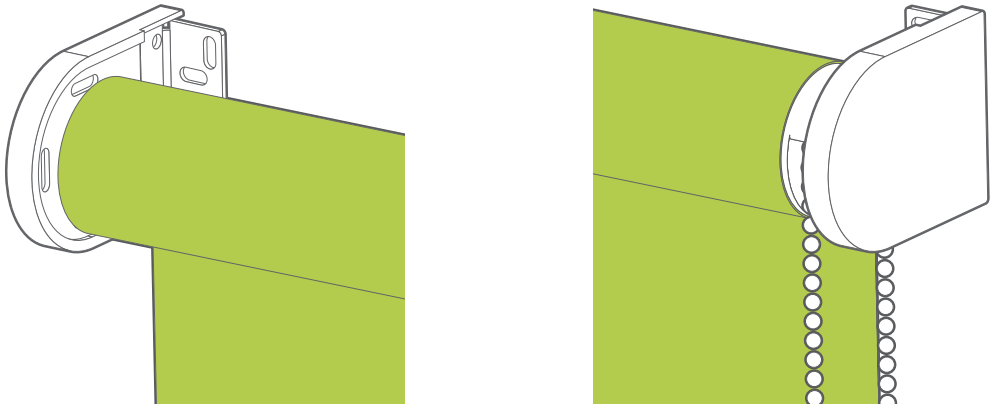
「リバース巻き」はチューブの前側でスクリーン生地が上下開閉し、チューブ自体を隠す効果もあります。また窓枠内にスクリーンを取り付ける場合、この巻き方ですと、窓ノブやその他の障害物とスクリーン生地の接触が防げます。



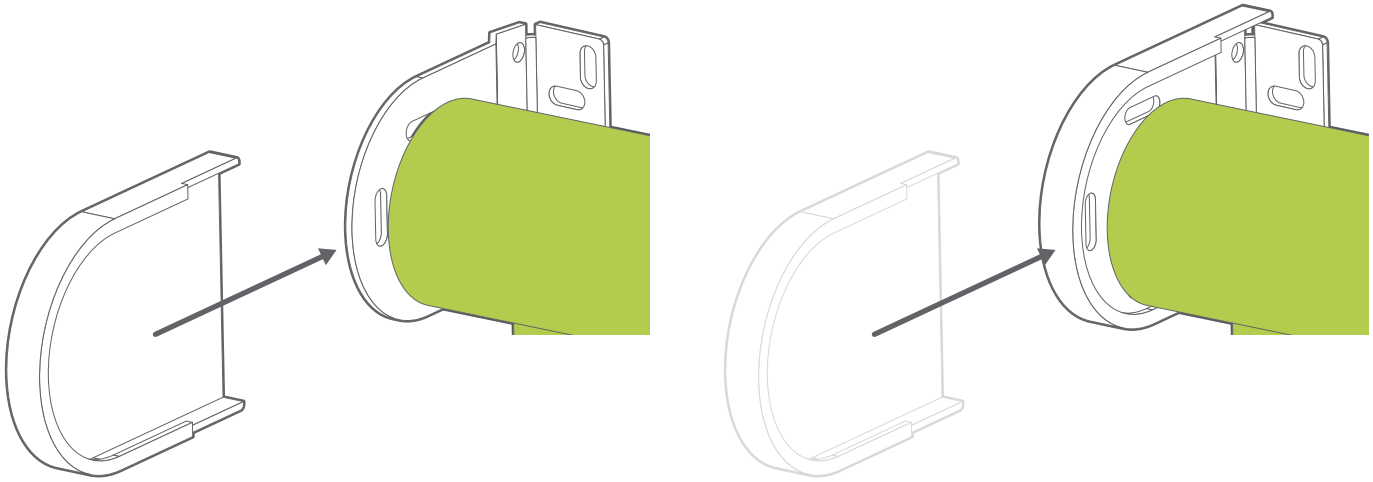


スクリーン生地の巻き方を変える場合は、まず現在巻いてある生地をすべて巻き出し、そのまま同方向にまき直します。その際、手のひらを滑らせて生地がしっかりとチューブに巻き付いていることを確認しながら巻いていきます。

ブラケットカバー（正面付けのみ）



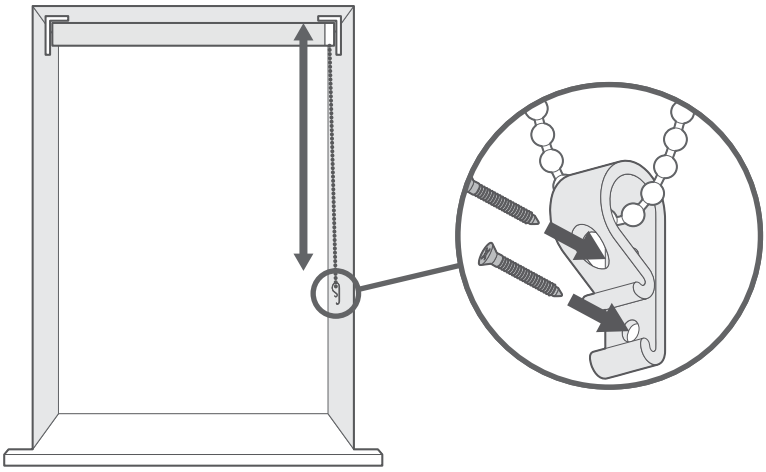
正面付けの際にブラケットを隠して、すっきりとした外観に仕上げるブラケットカバーが付属しています。



ブラケットカバーは、前方から後方に押し込むだけで簡単に装着できます。

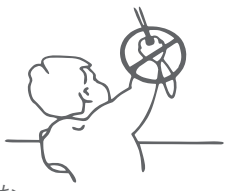
ロールスクリーン取り付けガイド
【チェーン式】ビス止め仕様

安心してブラインド等をご使用いただくために



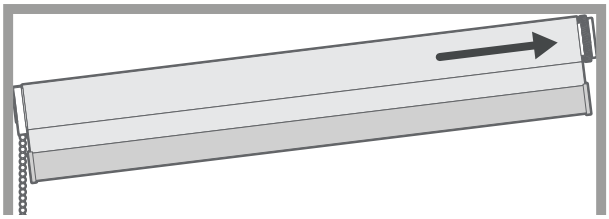
操作チェーンは小さなお子様やペットに絡まったり、自分で巻きつけたりする危険性があります。チェーンがたるまない位置で、付属のチェーンクリップを壁または窓枠に固定してお使いください。

お子様がよじ登って操作チェーンに手が届いてしまわないように、窓の近くにベビーベッドや家具などを設置しないで下さい。事故につながる恐れがあります。操作チェーンについて十分ご理解いただいたうえでご使用をお願いいたします。

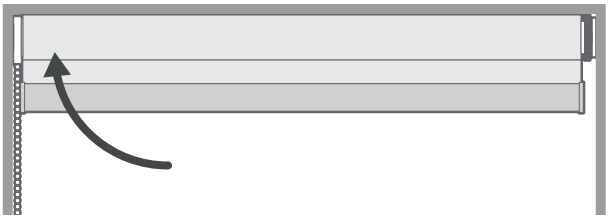


本体の取り付け方

チェーンコントローラーと反対側のダイヤルを壁に押し当てます。

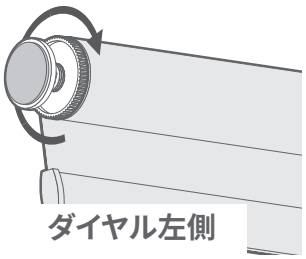


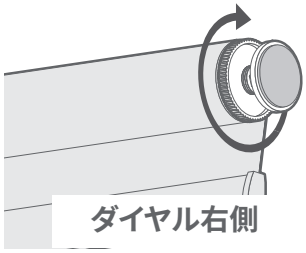
バネを縮めた状態で、チェーンコントローラー側を上げて、ロールスクリーンがまっすぐ水平になるように調整します。バネの反力で窓枠に固定します。



左右へテンションが掛かり、本体が固定されているのを確認してください。※この時点で窓枠に固定されない場合は、商品サイズが異なっている可能性がありますのでカスタマーサポートまでご連絡下さい。

◆ 幅1606mm以下、丈1800mm以下の商品:



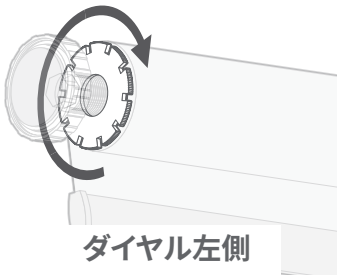


ダイヤルを、ロールスクリーンの筒に対して、時計回りに回し、突っ張りを伸ばします（左図参照）。回らなくなったら固定完了です。

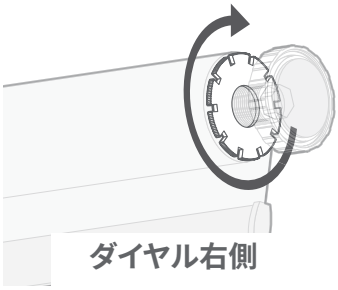
注意：側面が一緒に回らないように、側面を手で押さえながらダイヤルを回してください。

アドバイス
生地が窓枠天井に当たった状態で取り付けると、操作不良の原因となるため、生地と天井の隙間を3mm以上空けた状態で取り付けて下さい。

◆ 幅1607mm以上または丈1801mm以上の商品



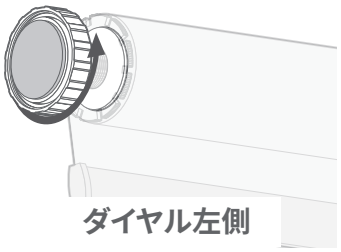
ダイヤル左側



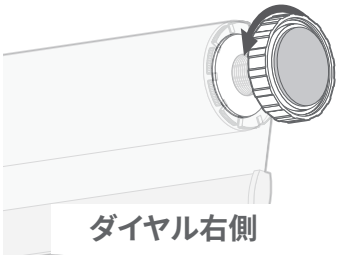
ダイヤル右側

Step 1
ダイヤル内側の調整リングを、ロールスクリーンの筒に対して、時計回りに回し、突っ張りを伸ばします（左図参照）。

注意：側面が一緒に回らないように、側面を手で押さえながらダイヤルを回してください。



ダイヤル左側

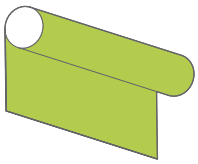


ダイヤル右側

Step 2
ダイヤルをロールスクリーンの筒に対して、反時計回りに回します。調整リングとダイヤルが接したら固定完了です。

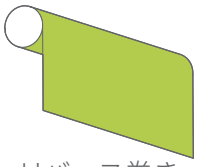
アドバイス
生地が窓枠天井に当たった状態で取り付けると、操作不良の原因となるため、生地と天井の隙間を3mm以上空けた状態で取り付けて下さい。

その他



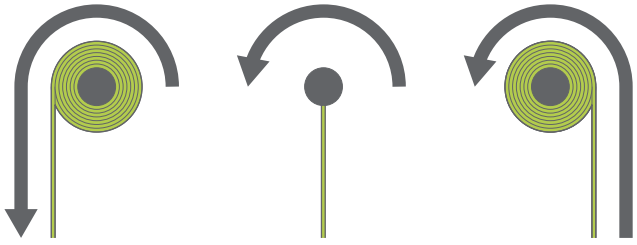
スタンダード巻き

ロールスクリーンは生地を2通りの方向に巻き付けることができます。「スタンダード巻き」は窓または壁に近い位置でスクリーン生地が上下開閉し、本体がチューブの後ろ側に巻きあげられる形です。一般的に遮光タイプのロールスクリーンに使われ、窓枠の外に取り付けることが多いです。「スタンダード巻き」は光漏れが少ないのがメリットです。



リバース巻き

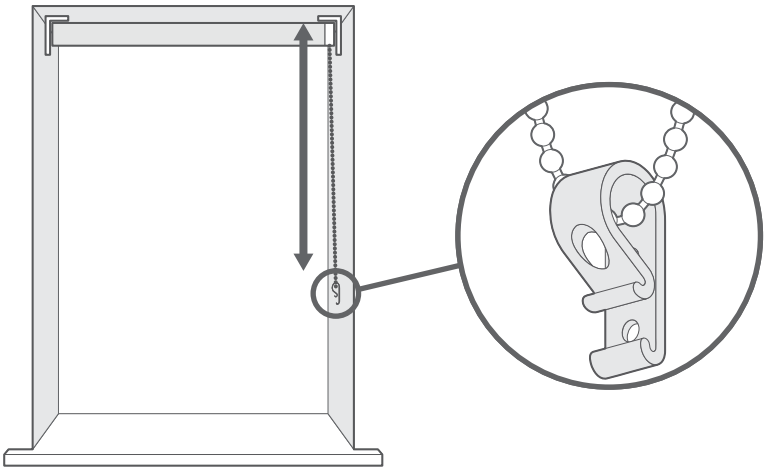
「リバース巻き」はチューブの前側でスクリーン生地が上下開閉し、チューブ自体を隠す効果もあります。また窓枠内にスクリーンを取り付ける場合、この巻き方ですと、窓ノブやその他の障害物とスクリーン生地の接触が防げます。



スクリーン生地の巻き方を変える場合は、まず現在巻いてある生地をすべて巻き出し、そのまま同方向にまき直します。その際、手のひらを滑らせて生地がしっかりとチューブに巻き付いていることを確認しながら巻いていきます。

ロールスクリーン取り付けガイド
【チェーン式】突っ張り仕様

安心してブラインド等をご使用いただくために

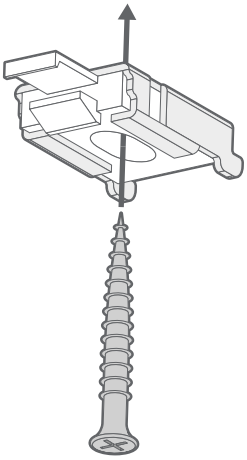


操作チェーンは小さなお子様やペットに絡まったり、自分で巻きつけたりする危険性があります。チェーンがたるまない位置で、付属のチェーンクリップに両面テープ等を貼り、壁または窓枠に固定してお使いください。

お子様がよじ登って操作チェーンに手が届いてしまわないように、窓の近くにベビーベッドや家具などを設置しないで下さい。事故につながる恐れがあります。操作チェーンについて十分ご理解いただいたうえでご使用をお願いいたします。

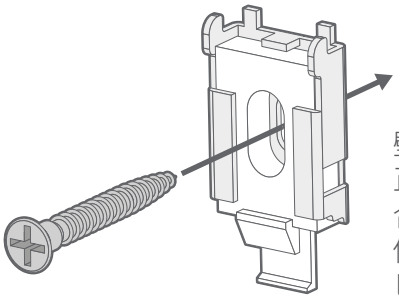
1

ブラケットの取り付け方



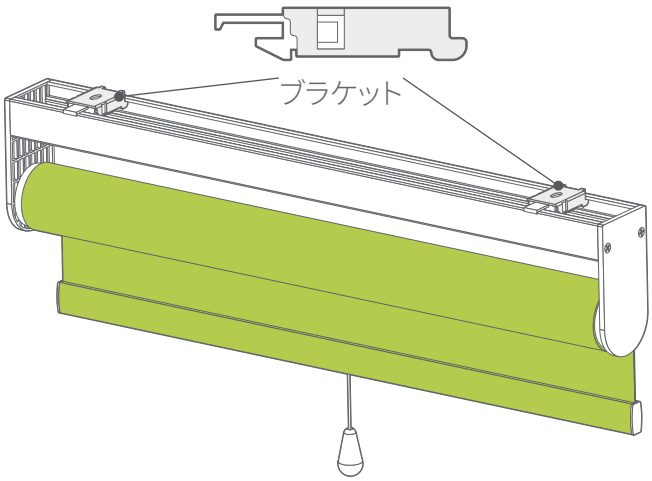
天井付け

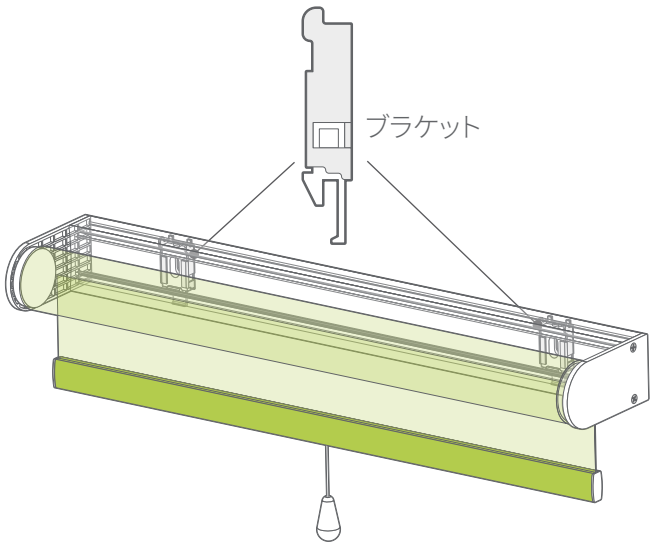
天井または窓枠内の上に取り付ける場合、ブラケット中央の穴を通してビスを垂直に天井に向かって打ち込みます。



正面付け

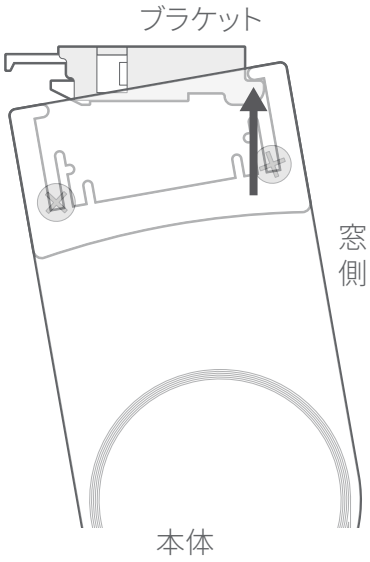
壁面または窓枠の正面に取り付ける場合、ブラケットの後ろ側にある2つの穴にビスを通して固定します。



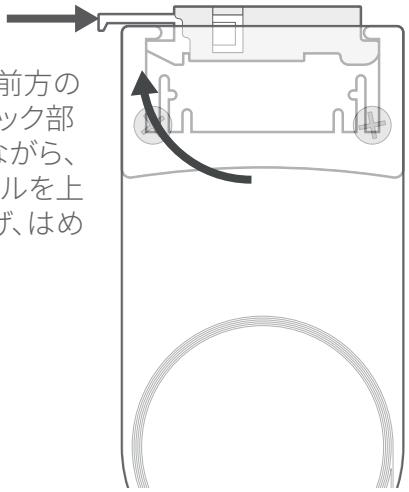


ロールスクリーン取り付けガイド【プルコード式】ビス止め仕様

天井付け

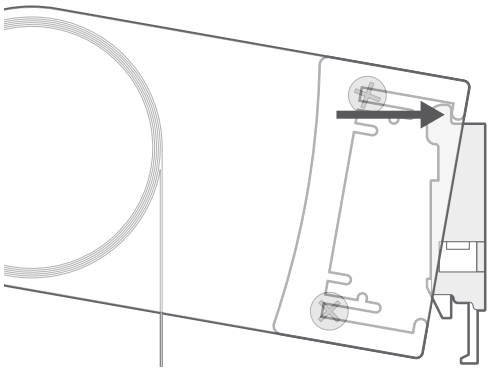


ブラケット後方のツメに本体のヘッドレールを引っかけます。

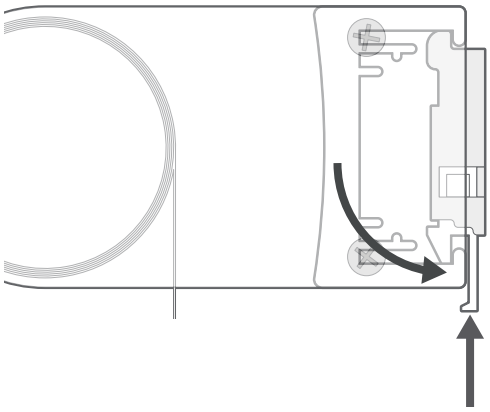


ブラケット前方のプラスティック部品を押しながら、ヘッドレールを上へ持ち上げ、はめ込みます。

正面付け

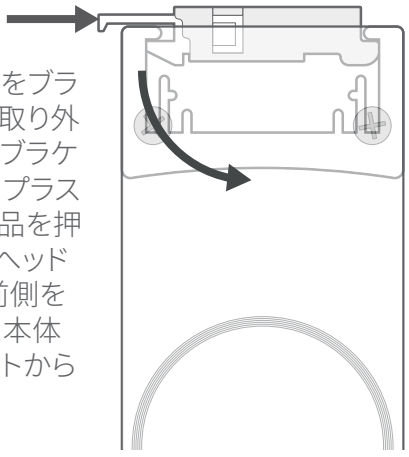


ブラケット上部のツメに本体のヘッドレールを引っかけます。

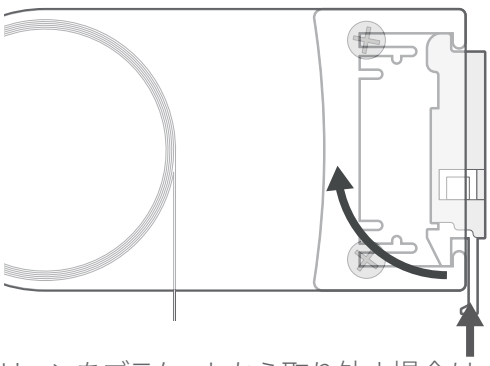


ブラケット下部のプラスティック部品を押しながら、ヘッドレールを下げて、はめ込みます。

スクリーン本体の取り外し方



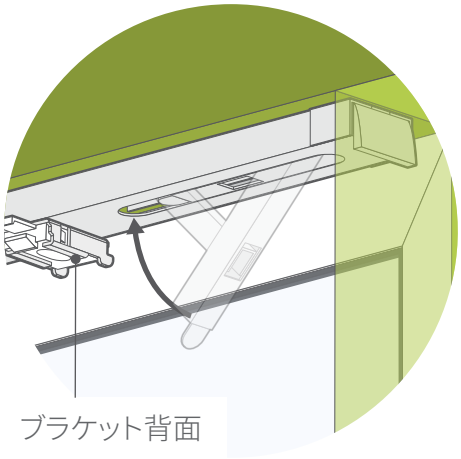
スクリーンをブラケットから取り外す場合は、ブラケット前方のプラスティック部品を押しながら、ヘッドレールの前側を下に引くと本体がブラケットから外れます。



スクリーンをブラケットから取り外す場合は、ブラケット下部のプラスティック部品を押しながら、ヘッドレール下部を引きながら上にあげるとブラケットから外れます。

1

突っ張り（クリック2フィット）の取り付け方



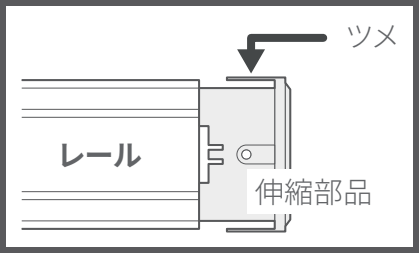
左図のようにブラケット背面を窓側へ向け、クリック2フィットを窓枠上部に水平に配置して、レバーをしっかり押し上げます。

（強力なバネの反力で固定するため、レバーは固くなりますがそのまま押し上げて下さい。）

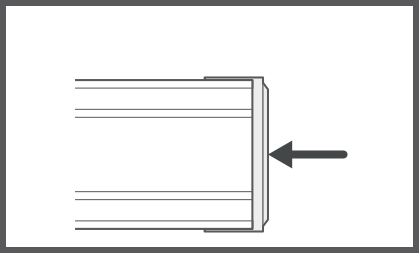
クリック2フィットが窓枠内に入らない場合

図①のようにツメが干渉し、伸縮部品がレールに収まっていない可能性があります。ツメを手で広げ、図②のようにレールへ収めた状態で配置して下さい。

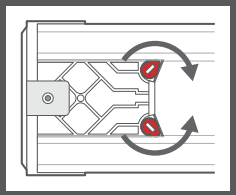
図① 正しく収まっていない図



図② 正しく収まっている図

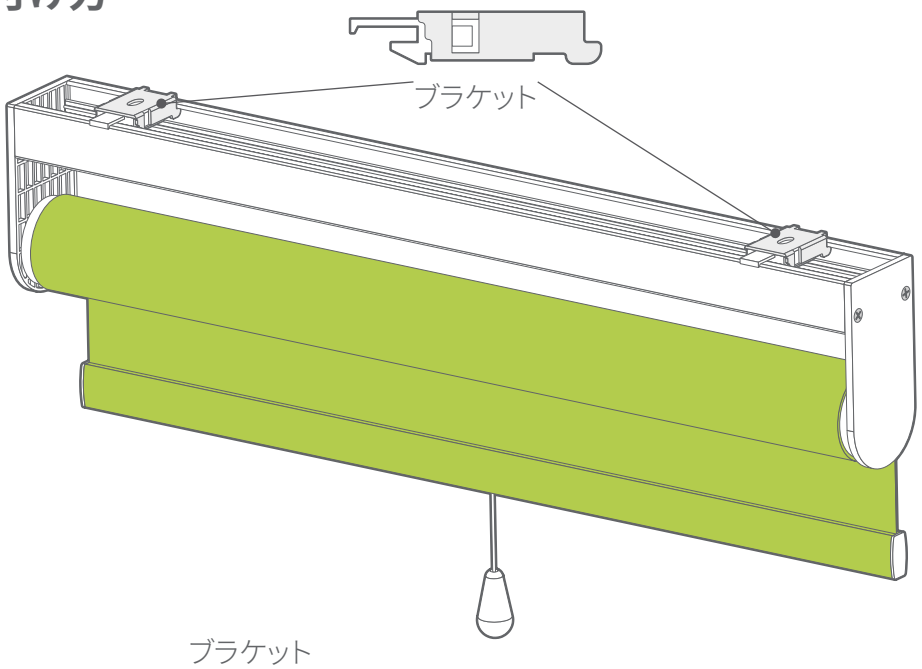


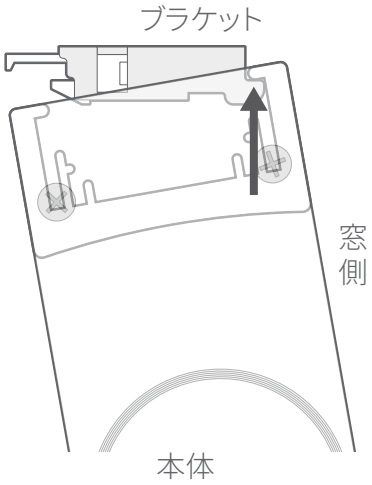
クリック2フィットが短く固定されない場合



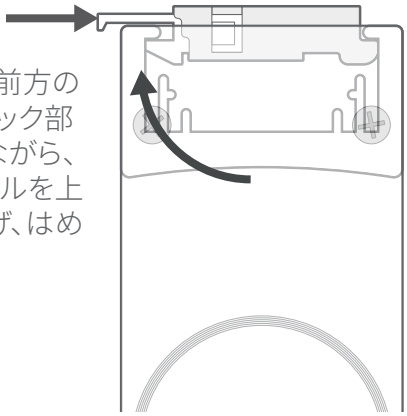
レール幅に微調整が必要な場合は、レバーと反対側にある、赤部分をマイナスドライバーで矢印のように中央に向かって回し、端の部品をレールから少し引き出してレールを伸ばしてください。微調整後は、赤部分を戻し固定して下さい。

本体の取り付け方



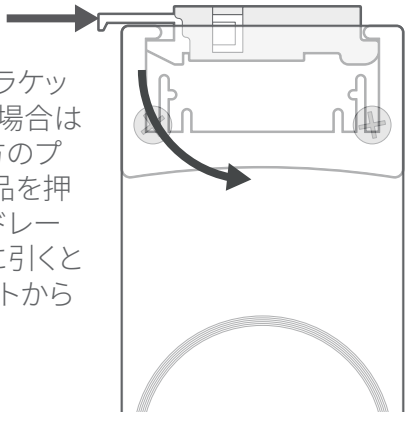


ブラケット後方のツメに本体のヘッドレールを引っかけます。

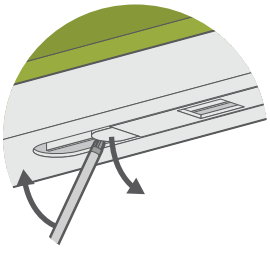


ブラケット前方のプラスティック部品を押しながら、ヘッドレールを上へ持ち上げ、はめ込みます。

スクリーン本体の取り外し



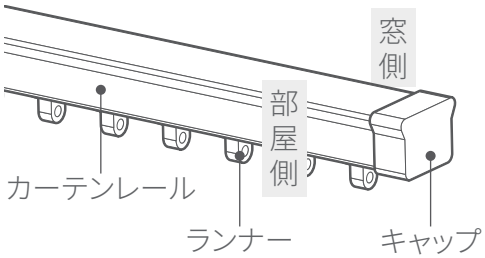
スクリーンをブラケットから取り外す場合は、ブラケット前方のプラスティック部品を押しながら、ヘッドレールの前側を下に引くと本体がブラケットから外れます。



マイナスドライバーなどの細い工具をレバー横の隙間に差し込み、レバーを下方向に押し出します。

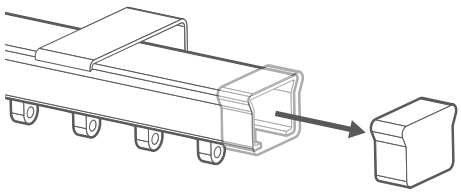
※落下防止のため、レバーから離れた位置を片手で抑えながら作業を行って下さい。またレバーが勢いよく下がりますので、ご注意下さい。

1 取り付け前に確認

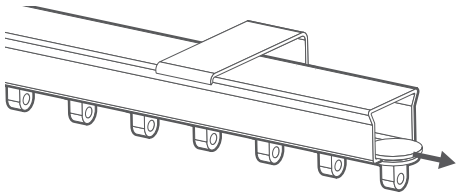


※必ずカーテンレールの耐荷重が10kg以上であることをご確認のうえ、お取付下さい。

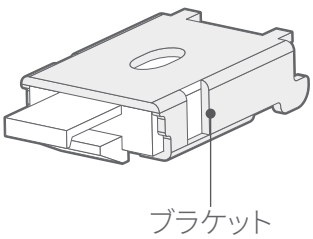
2 ブラケットの取り付け方

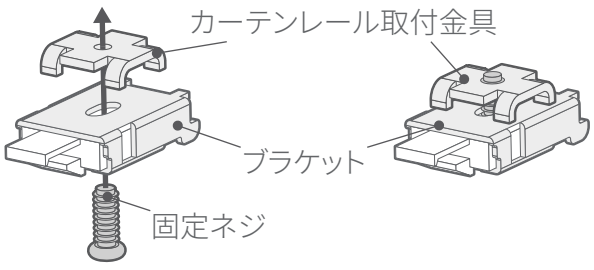


カーテンレールからキャップを取り外す。

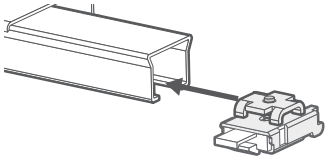
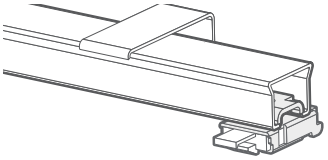
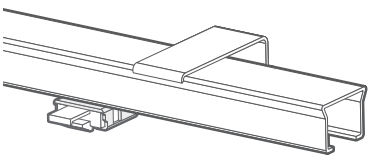


ランナーを全て抜く。

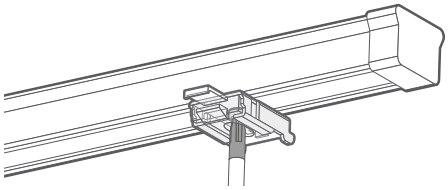




カーテンレール取付金具をブラケットの上に置き、固定ネジをドライバーで仮止めする。

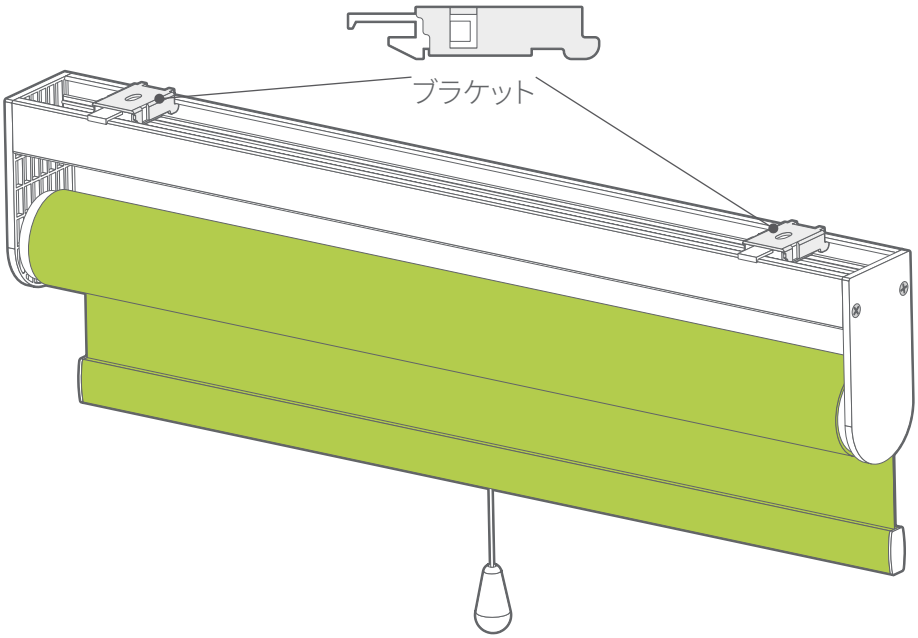
仮止めしたままカーテンレール取付金具をカーテンレールに挿入する。



固定ネジを適当な位置で締める。

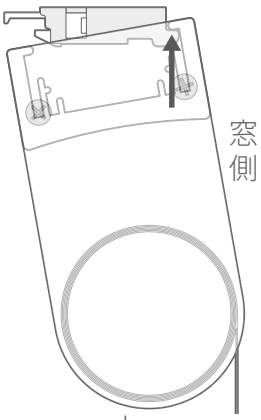
3

本体の取り付け



ブラケット

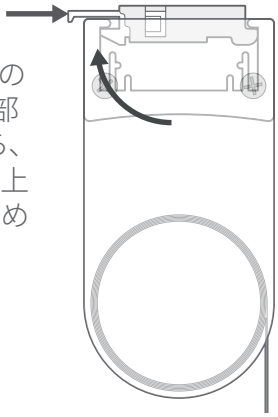
ブラケット後方のツメに本体のヘッドレールを引っかけます。



窓側

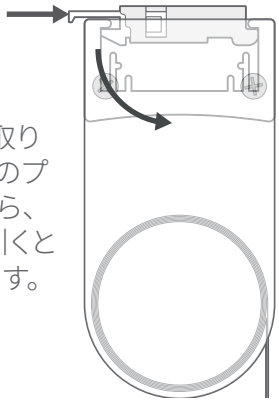
本体

ブラケット前方のプラスティック部品を押しながら、ヘッドレールを上へ持ち上げ、はめ込みます。



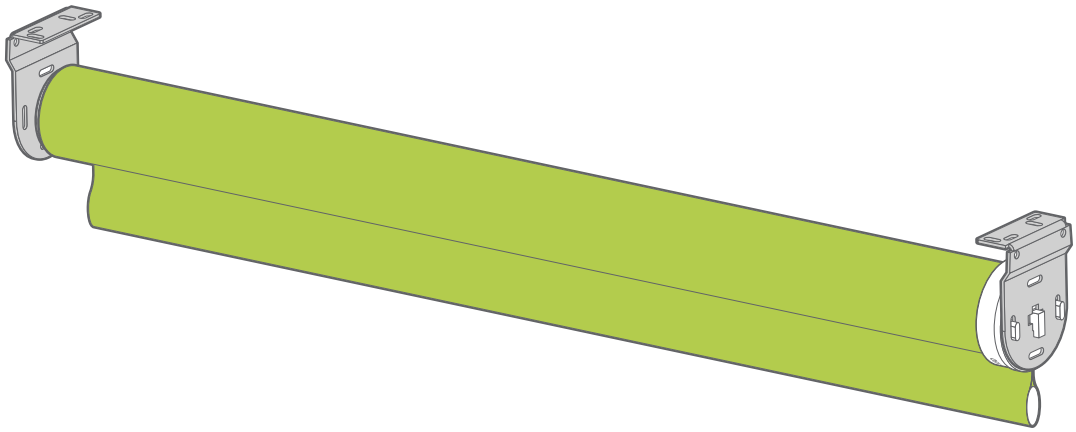
スクリーン本体の取り外し

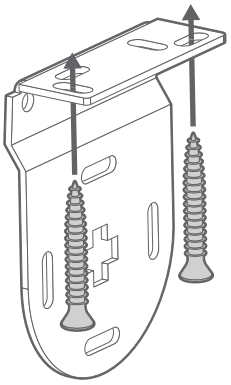
スクリーンをブラケットから取り外す場合は、ブラケット前方のプラスティック部品を押しながら、ヘッドレールの前側を下に引くと本体がブラケットから外れます。



1

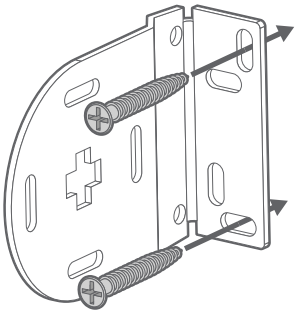
ブラケットの取り付け方





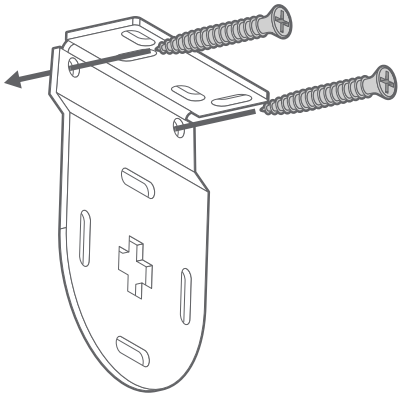
天井付け

窓枠内の天井にビスで取り付けます。



正面付け

窓枠外側の壁面、または窓枠の正面に取り付けます。

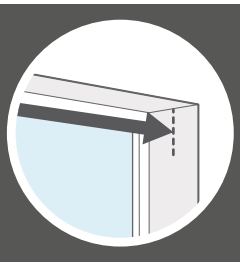


側面付け

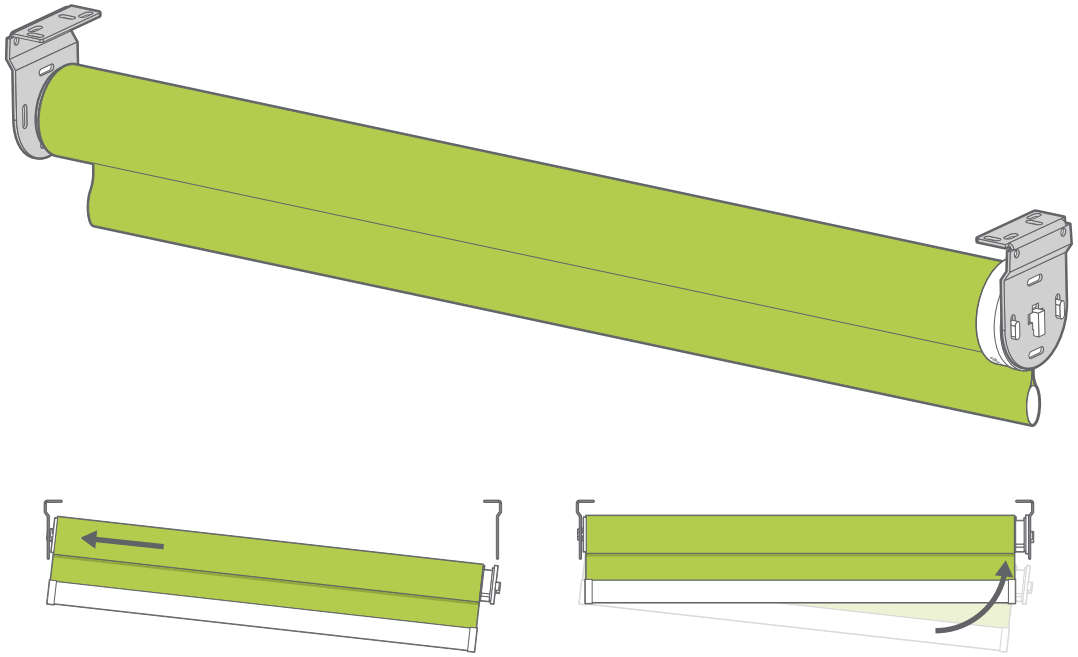
窓枠内の側面にビスで取り付けます。

アドバイス

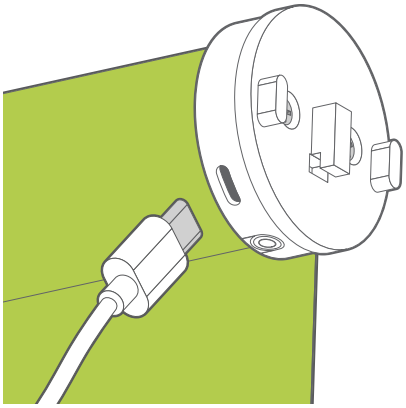
通常は天井付けまたは正面付けでの取り付けをおすすめします。お部屋の天井や窓枠の上部に凹凸（鴨居など）がある場合は側面付けでお取付け下さい。



本体の取り付け方



ブラケットの取り付けが終了したら、「ピンエンド」（上記参照）をブラケットに合わせます。そのあとコントロール側を反対側のブラケットに取り付け固定します。



ブラインドを取り付けた後、モーターを完全に充電することをお勧めします。LEDランプが赤色から緑色に点灯するまで充電して下さい。

付属しているタグの表面（緑色）のQRコードを読み込んで、アプリをダウンロードします。裏面（白黒）のQRコードはアプリをダウンロード後、商品を登録する際に使用します。

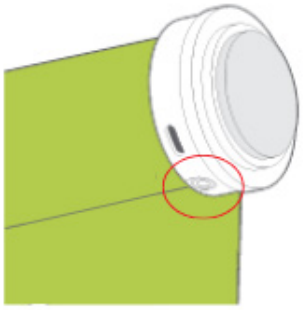
"複数のスマートフォンで使用することができますが、同時に使用することはできません。初めて接続する際は一人ずつ行い、使用しない方はアプリを閉じるかBluetoothをオフにして下さい。

接続ができなくなった時は、充電器を差し込みなおし、一人ずつアプリに再接続して下さい。その際も操作している人以外はアプリを閉じるかBluetoothをオフにして、全員接続し終わったら充電器を抜いて下さい。"

設定時の注意点と対処法

商品がスマートフォンと接続できない場合

電源が入っていない場合がございます。
電源ボタン（充電ポート横）を音が鳴るまで長押ししてください。
※ ボタンが小さいため、ペンなどで押してください。

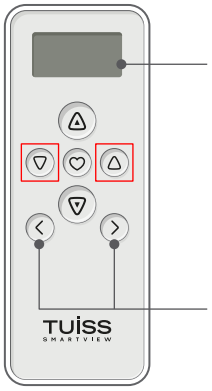


ブラインドの上限・下限設定

ブラインドの上限・下限の設定をし直す場合はアプリより設定をお願いします。
下記流れに従って、設定してください。

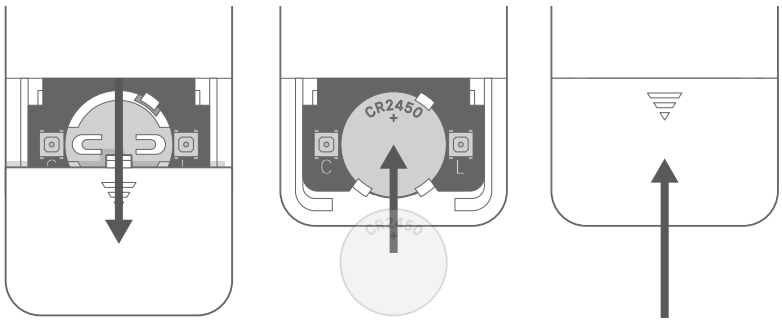
トップ画面右上の⚙マーク ＞ ブラインド(設定するブラインド)を選ぶ ＞
概要内から設定するブラインドを選ぶ ＞ その他設定 ＞ リミット設定

リモコンの使い方 （有料オプション）



リモコンの設定は、専用のアプリを使用して行います。前のページでご案内した通り、アプリをダウンロードしてください。アカウントを設定した後、アプリ内の指示に従ってリモコンの設定を行ってください。

四角で囲んでいるボタンはロールスクリーンでは使用しません。

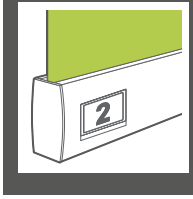


リモコンの電池は、リモコン裏側にある電池カバーをスライドして外し、付属のリチウムイオンバッテリーを丸いスロットに挿入します。

「上」ボタンを押すとブラインドが上昇します。停止する時は、「ストップ」ボタンを押します。

「ストップ」ボタンを押すと昇降中のブラインドを停止します。

「下」ボタンを押すとブラインドが下降します。停止する時は、「ストップ」ボタンを押します。

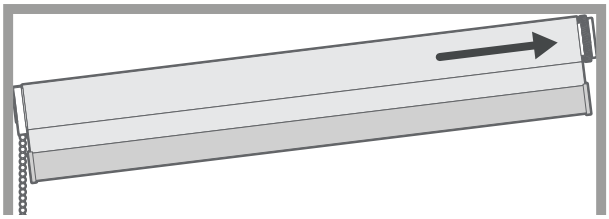


チャンネル操作

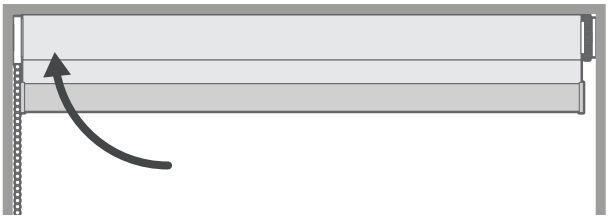
操作するロールスクリーンを変更します。チャンネル番号は各ロールスクリーンのボトムバー裏側に貼られているラベルを確認して下さい。

本体の取り付け方

チェーンコントローラーと反対側のダイヤルを壁に押し当てます。

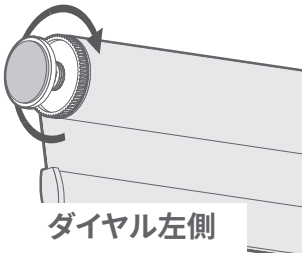


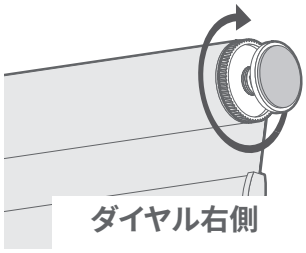
バネを縮めた状態で、チェーンコントローラー側を上げて、ロールスクリーンがまっすぐ水平になるように調整します。バネの反力で窓枠に固定します。



左右へテンションが掛かり、本体が固定されているのを確認してください。※この時点で窓枠に固定されない場合は、商品サイズが異なっている可能性がありますのでカスタマーサポートまでご連絡下さい。

◆幅614mm以下の商品：





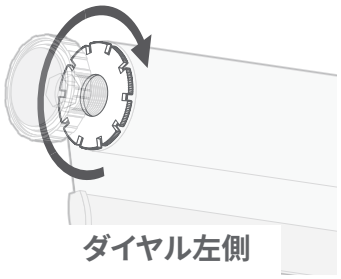
ダイヤルを、ロールスクリーンの筒に対して、時計回りに回し、突っ張りを伸ばします（左図参照）。回らなくなったら固定完了です。

注意：側面が一緒に回らないように、側面を手で押さえながらダイヤルを回してください。

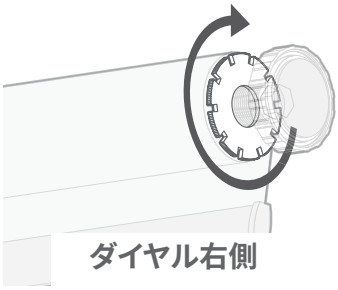
アドバイス
生地が窓枠天井に当たった状態で取り付けると、操作不良の原因となるため、生地と天井の隙間を3mm以上空けた状態で取り付けて下さい。

ロールスクリーン取り付けガイド（電動タイプ）　突っ張り式仕様

◆ 幅615ｍｍ以上の商品



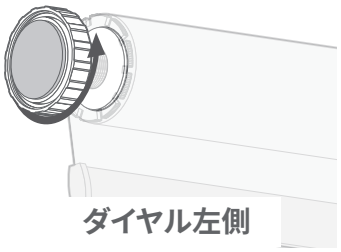
ダイヤル左側



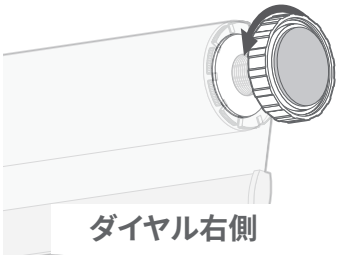
ダイヤル右側

Step 1
ダイヤル内側の調整リングを、ロールスクリーンの筒に対して、時計回りに回し、突っ張りを伸ばします（左図参照）。

注意：側面が一緒に回らないように、側面を手で押さえながらダイヤルを回してください。



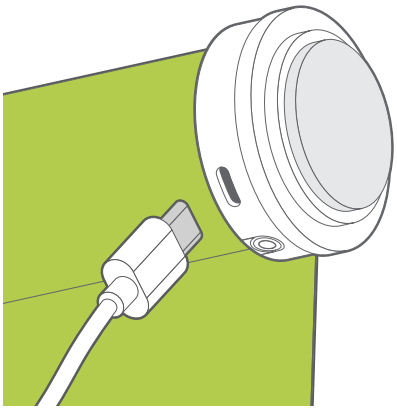
ダイヤル左側



ダイヤル右側

Step 2
ダイヤルをロールスクリーンの筒に対して、反時計回りに回します。調整リングとダイヤルが接したら固定完了です。

アドバイス
生地が窓枠天井に当たった状態で取り付けると、操作不良の原因となるため、生地と天井の隙間を3mm以上空けた状態で取り付けて下さい。



ブラインドを取り付けた後、モーターを完全に充電することをお勧めします。LEDランプが赤色から緑色に点灯するまで充電して下さい。

付属しているタグの表面（緑色）のQRコードを読み込んで、アプリをダウンロードします。裏面（白黒）のQRコードはアプリをダウンロード後、商品を登録する際に使用します。

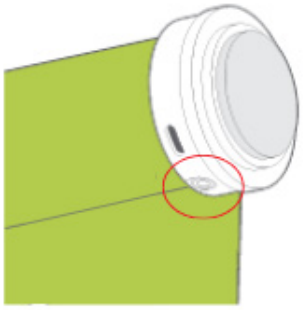
"複数のスマートフォンで使用することができますが、同時に使用することはできません。初めて接続する際は一人ずつ行い、使用しない方はアプリを閉じるかBluetoothをオフにして下さい。

接続ができなくなった時は、充電器を差し込みなおし、一人ずつアプリに再接続して下さい。その際も操作している人以外はアプリを閉じるかBluetoothをオフにして、全員接続し終わったら充電器を抜いて下さい。"

設定時の注意点と対処法

商品がスマートフォンと接続できない場合

電源が入っていない場合がございます。
電源ボタン（充電ポート横）を音が鳴るまで長押ししてください。
※ ボタンが小さいため、ペンなどで押してください。

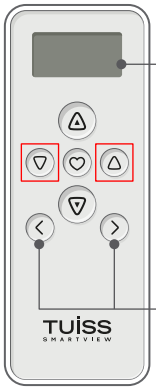


ブラインドの上限・下限設定

ブラインドの上限・下限の設定をし直す場合はアプリより設定をお願いします。
下記流れに従って、設定してください。

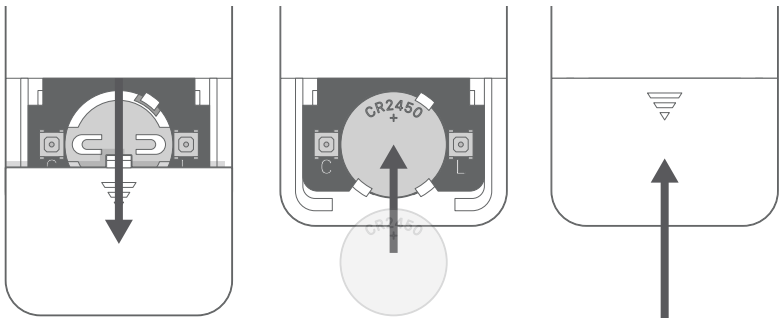
トップ画面右上の⚙マーク ＞ ブラインド(設定するブラインド)を選ぶ ＞
概要内から設定するブラインドを選ぶ ＞ その他設定 ＞ リミット設定

リモコンの使い方 （有料オプション）



リモコンの設定は、専用のアプリを使用して行います。前のページでご案内した通り、アプリをダウンロードしてください。アカウントを設定した後、アプリ内の指示に従ってリモコンの設定を行ってください。

四角で囲んでいるボタンはロールスクリーンでは使用しません。

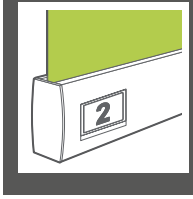


リモコンの電池は、リモコン裏側にある電池カバーをスライドして外し、付属のリチウムイオンバッテリーを丸いスロットに挿入します。

「上」ボタンを押すとブラインドが上昇します。停止する時は、「ストップ」ボタンを押します。

「ストップ」ボタンを押すと昇降中のブラインドを停止します。

「下」ボタンを押すとブラインドが下降します。停止する時は、「ストップ」ボタンを押します。

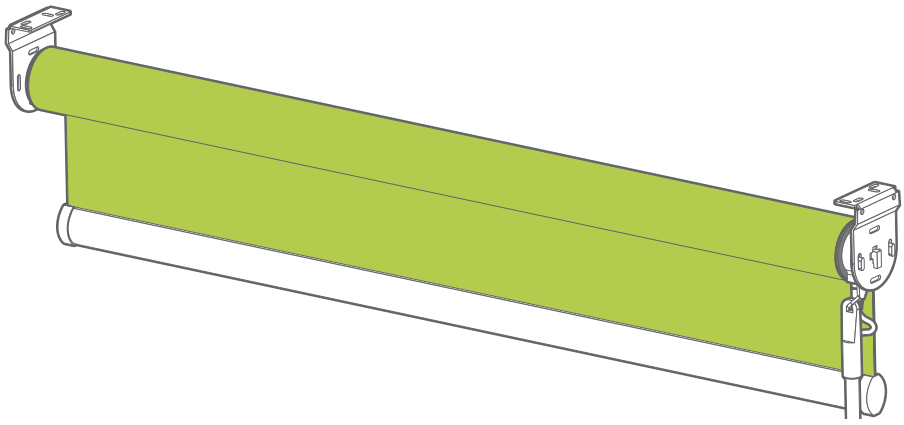


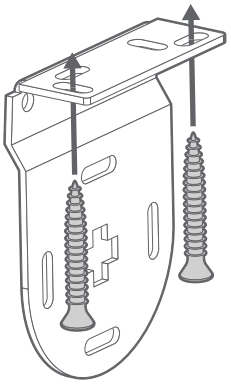
チャンネル操作

操作するロールスクリーンを変更します。チャンネル番号は各ロールスクリーンのボトムバー裏側に貼られているラベルを確認して下さい。

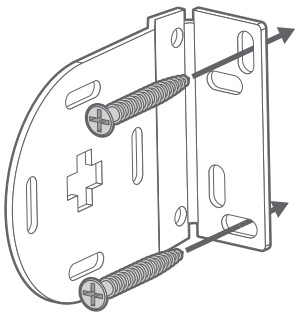
1

ブラケットの取り付け方

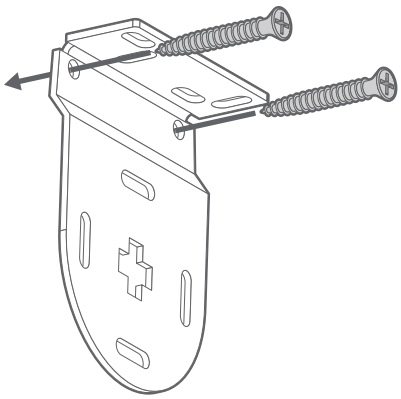




天井付け
窓枠内の天井にビスで取り付けます。



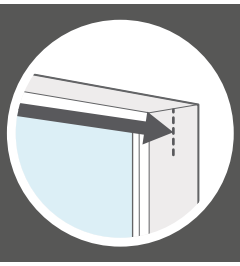
正面付け
窓枠外側の壁面、または窓枠の正面に取り付けます。



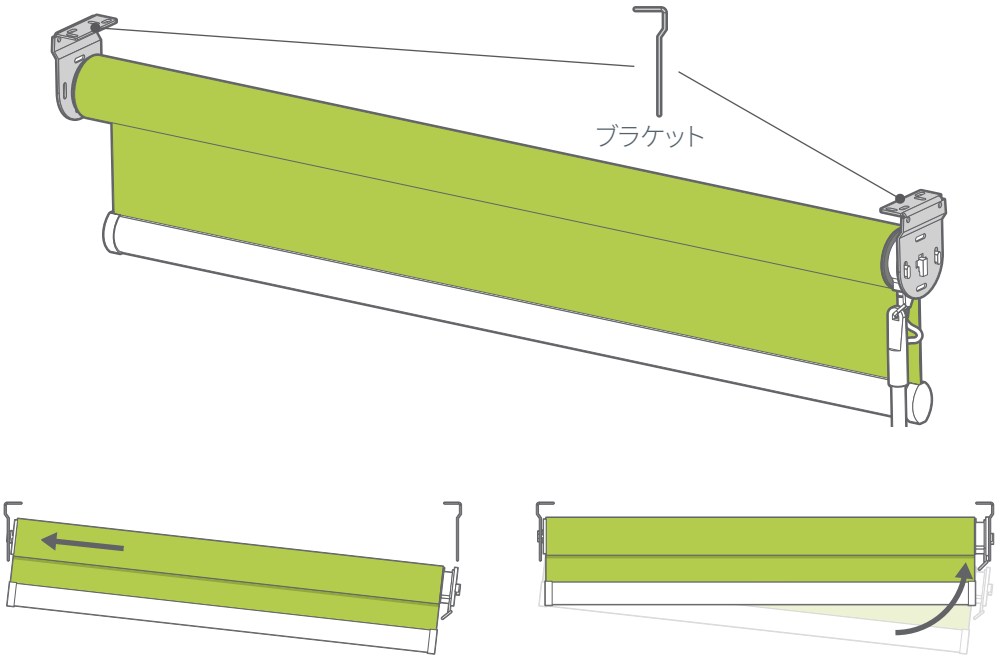
側面付け
窓枠内の側面にビスで取り付けます。

アドバイス

通常は天井付けまたは正面付けでの取り付けをおすすめします。お部屋の天井や窓枠の上部に凹凸（鴨居など）がある場合は側面付けでお取付け下さい。

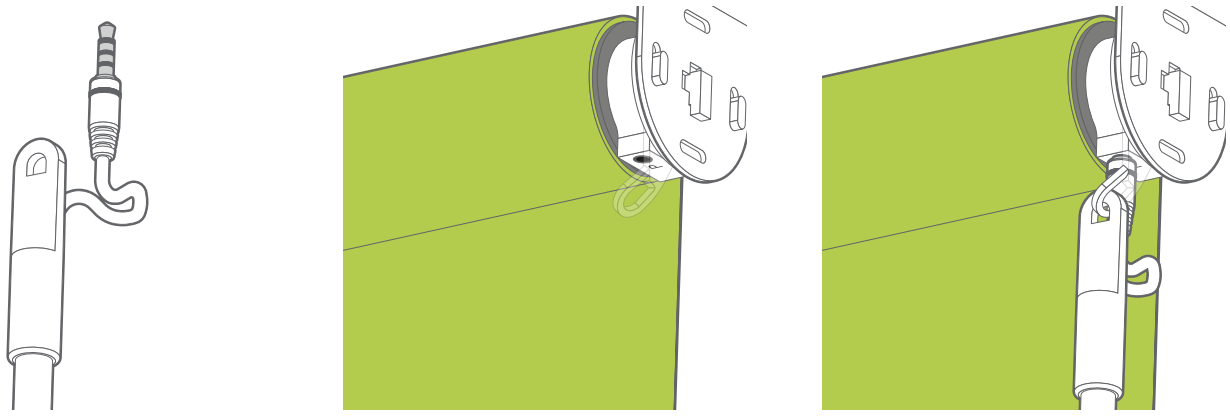


2 本体の取り付け方



ロールスクリーンを上まで巻き上げた状態で、ピンエンドをブラケットに合わせます。そのあと、コントローラー側を反対側のブラケットに取り付け固定します。

3 電動操作ワンドの取り付け



電動操作ワンドのプラグをポーターに差し込み、上部をフックに引っかけます。

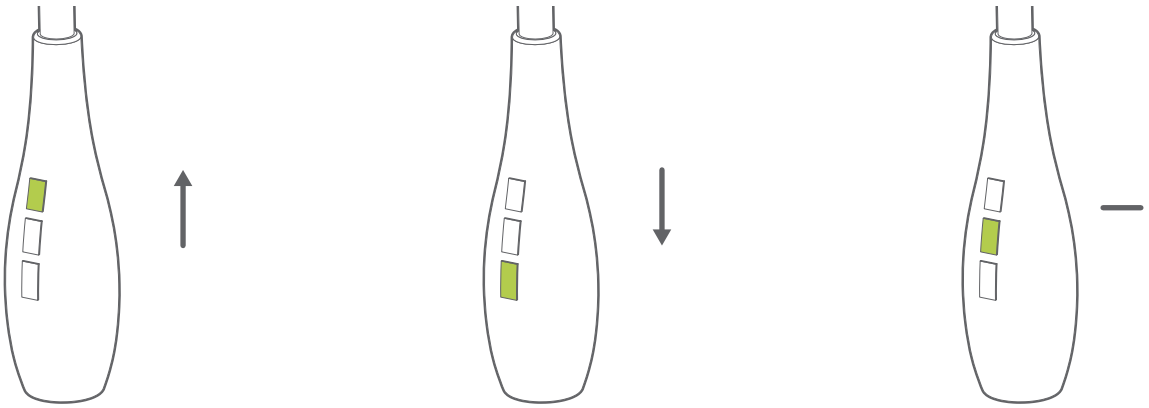
4

電動操作ワンドを充電する

取り付けた後、モーターを完全に充電することをお勧めします。LEDのランプが赤色から緑色に点灯するまで充電して下さい。充電がなくなったらアラームが鳴り、動作が不安定になります。

5

電動操作ワンドの使い方



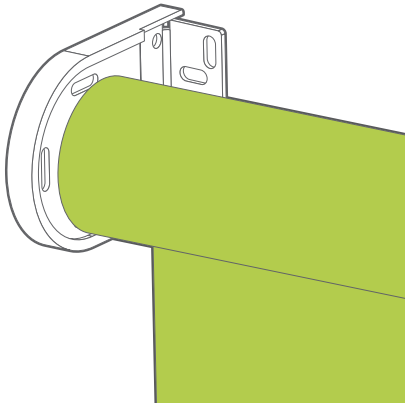
電動操作ワンドのハンドルについているボタンを押してスクリーンを操作します。上のボタンを押すと上がります。下のボタンを押すと下がります。真ん中のボタンを押すとスクリーンは停止します。

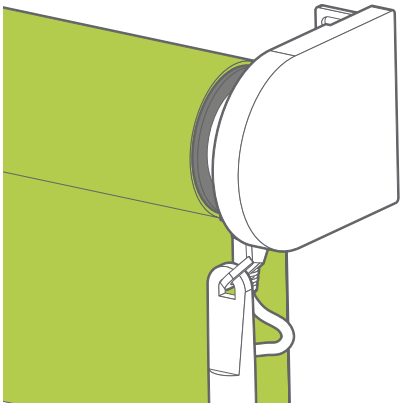
アドバイス

スクリーンの全開・全閉位置は、工場出荷時にご注文丈に合わせて設定されています。本体取り付け時にスクリーンが上まで巻き上がっていないと全開・全閉位置がずれますのでご注意下さい。

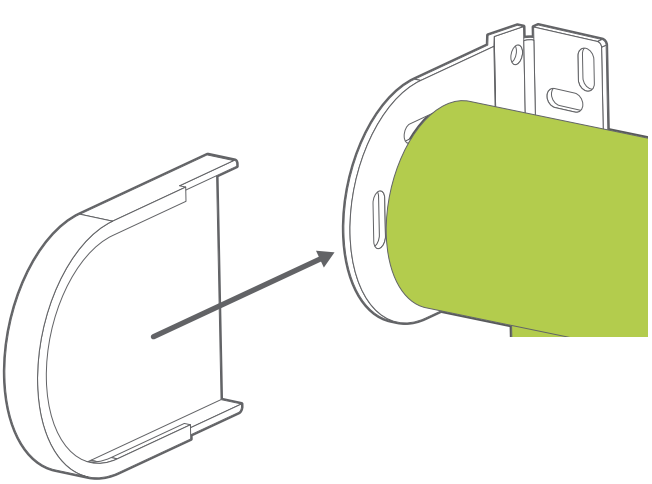
その他

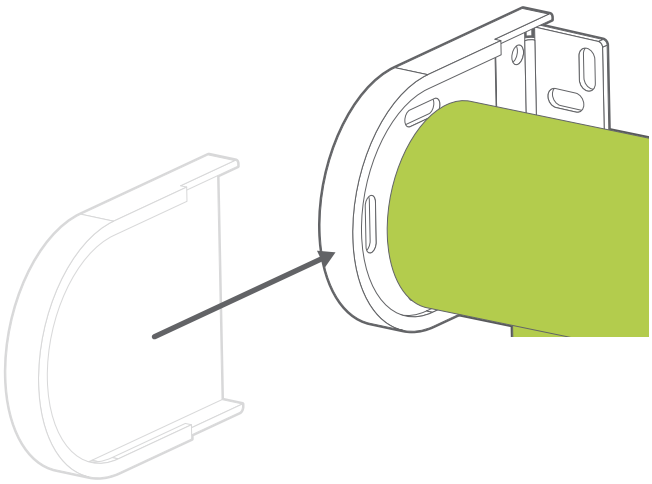
ブラケットカバー（正面付けのみ）





正面付けの際にブラケットを隠して、すっきりとした外観に仕上げるブラケットカバーが付属しています。





ブラケットカバーは、前方から後方に押し込むだけで簡単に装着できます。